

| 事業所名 | | 放課後デイゆりのき | | | | | 公表日 | | 令和8年1月20日 | |
|----------|----|--|----|-----|---|--|-----|--|-----------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 13 | 0 | ・利用状況により外の活動に変更したり、カーテンなどで仕切る。 ・車いすの児、動き回る児等に配慮し、限られたスペース内での場所（くつろぎ所）を考えている。 ・バギー利用児の人数が多く、歩き回ることもいる時、スペースの確保が大変な時もある。 | ・利用していない物を片付けスペースを確保する。 ・利用状況により、外の活動と中の活動に、グループを分けて活動する。 | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 13 | 0 | ・利用時に応じて職員数を考えている。 | ・マンツーマン対応に児が多い時は、職員を多く配置する。 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 10 | 3 | ・物の場所の見直しを行ったり、必要に応じて机やいすを動かしたりして、安全な空間を確保している。 ・カーテンで仕切ったり、狭いながらも工夫して過ごしやすいが、どうしてもスペースに限りがあるのですっきりできないところや使いにくい場所もある。物の置き場所が変化する事が多い。いたしかたない・・・ | ・不要なものは出来るだけ置かないようにし、何がどこにあるかを明確化していく。 | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 13 | 0 | ・清潔、整理整頓、換気、常に心掛けている。 | | | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 13 | 0 | ・4つの居室を状態に合わせてフル活用している。 | | | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 10 | 2 | ・カンファレンスで共有 ・2カ月に1回カンファレンスを実施 ・回答無し×1 | ・カンファレンスだけでなく、日頃からコミュニケーションを取って業務改善を進めていく。 | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 13 | 0 | ・保護者の意見はカンファや日々の申し送りで共有し、支援につなげている。 ・モニタリングに時間をかけている。 | | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 13 | 0 | ・意見を言いやすい職場だと思う。 ・カンファレンスの実施 | | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 5 | ・第三者委員会は設置していない。 ・回答無し×4 | | | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 13 | 0 | ・内部、外部研修の案内が増えてきている。 ・カンファで実施している。 | ・外部研修の参加費用の助成を行い、看護職員に対する発達や児童への理解に対する研修、児童指導員には医療ケア、身体介護についての研修をしていく。 | | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 13 | 0 | ・連絡帳にて公表。 | | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 12 | 0 | ・モニタリングを基に作成されている。 ・回答無し×1 | | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 12 | 0 | ・カンファレンスで検討している。 ・回答無し×1 | | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 13 | 0 | | | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | 2 | ・回答無し×3 | ・毎日の業務日誌、モニタリングの都度、記録を共有している。 | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 12 | 0 | ・回答無し×1 | ・できるだけ具体的に記載していく。 | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 13 | 0 | ・活動当番の先生が考えてくれた活動を、利用児に合わせてアレンジを加えながら行っている。 | | | | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|--|----|-----------------------|---|--|
| 適切な支援の提供 | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 13 | 0 | ・支援員の先生がいつも楽しい活動を考えてくれて、子ども達も楽しそうにしている。1週間の中で子供の成長もよく分かる内容だ。 ・個別プログラム、集団プログラムを組み合わせている。 | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 12 | 0 | ・集団活動が苦手な児も参加できるようなプログラム、声掛け、対応を行っている。 ・回答無し×1 | ・集団活動の際も、それぞれの児が取り組みやすいように個別に支援をしている。 |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 12 | 1 | ・できている。 | ・できるだけコミュニケーションを取り、情報を共有していく。 |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 7 | ・気が付いた点は必ず管理者に報告している。 ・共有すべきことがあれば個別に広告し、後日全体に共有。 ・その日のうちの振り返りはできないことが多いが、後日に行うなど共有することは出来ている。 ・簡単ではあるができています。 | ・送迎がある為、その日に振り返りが難しい事もあるが、必ず全体で共有する時間を設けていく。 |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 12 | 0 | ・回答無し×1 | ・必ず記録に残していく。 |
| | 23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 13 | 0 | | |
| | 24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 11 | 2 | | ・それぞれの児に合わせて形で支援を行えるように、改めてガイドラインを職員間で確認していく。 |
| 25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 13 | 0 | ・活動の節々で取り入れている。 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 12 | 1 | | ・支援会議にはモニタリング、日頃支援している児発管が参画している。 |
| | 27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 12 | 1 | | ・新規利用の児に対して、通っている保育園、幼稚園に引継ぎに行ったり、小学校等の様子を見に行ったり、連携を行っていく。 |
| | 28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 12 | 1 | | ・連携が取れる関係を築いていく。 |
| | 29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 12 | 0 | ・回答無し×1 | |
| | 30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 7 | 3 | ・回答無し×3 | ・卒業生がスムーズに卒業事業所に移行できるよう、卒後の事業所とも連携する努力をしている。 |
| | 31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 5 | ・回答無し×5 | |
| | 32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 11 | ・回答無し×1 | |
| | 33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 5 | ・回答無し×5 | ・現状、三田市では参加出来ない。 |
| | 34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 13 | 0 | ・モニタリングや送迎の際にお伝えしている。 ・送迎時モニタリング時を有効活用している。 | ・お互いに伝えやすい関係性の構築を目指していく。 |
| 35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 7 | ・回答無し×3 | ・家族が参加出来るイベント等のパンフレットの配布等、情報提供を行っている。 | |
| 36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 11 | 0 | ・契約時に説明 ・回答無し×2 | | |
| 37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 12 | 0 | ・モニタリング時に。 ・回答無し×1 | | |
| 38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 12 | 0 | ・回答無し×1 | ・モニタリングの際に丁寧に説明していく。 | |
| 39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 12 | 0 | ・回答無し×1 | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|--------|----|---------|---------------------------|---------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 1 | 9 | ・保護者会は設置していない。 ・回答無し×3 | |
| | 41 | 13 | 0 | ・迅速にできている。 | |
| | 42 | 6 | 3 | ・回答無し×4 | ・HPを充実させていく。SNS等を活用する事も検討していく。 |
| | 43 | 12 | 0 | ・回答無し×1 | |
| | 44 | 12 | 0 | ・SNS等の利用。 ・回答無し×1 | |
| | 45 | 4 | 5 | ・回答無し×4 | ・地域の方に部屋を利用していただいたり、地域の会議に参加する等行っている。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 13 | 0 | ・マニュアルを作成し、入口に常設。 | |
| | 47 | 13 | 0 | | |
| | 48 | 13 | 0 | ・学校、家族に契約時に確認している。 | |
| | 49 | 11 | 0 | ・家族を通じて対応 ・回答無し×2 | |
| | 50 | 11 | 0 | ・回答無し×2 | |
| | 51 | 9 | 2 | ・回答無し×2 | ・契約時やモニタリングの際に、必ず確認していく。職員にも周知徹底していく。 |
| | 52 | 13 | 0 | | |
| | 53 | 12 | 0 | ・カンファレンス等で実施 ・回答無し×1 | |
| 54 | 11 | 1 | ・回答無し×1 | ・現在、身体拘束する児は言いない。 | |